平成 23 年 11 月４日

各　　位

会 社 名　日 本 水 産 株 式 会 社
代表者名　代表取締役社長執行役員　垣添直也
コード番号　1332
問合せ先　法務部長　　竹内 康訓
（TEL. 03－3244－7181）

第２四半期（累計）業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 23 年８月５日に公表した業績予想と比較して、本日公表の決算において下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。

（注）個別の業績につきましては、平成 23 年５月 10 日に公表済の数値です。

記

１．平成24年３月期第２四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異

（平成 23 年４月１日～平成 23 年９月 30 日）

（連結）　　（金額の単位：百万円）

	売　上　高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前　回　発　表　予　想（A）	270,000	4,500	3,500	2,000	7 円 24 銭
実　　績　　値　（B）	271,774	6,355	5,280	2,073	7 円 51 銭
差　　額（B－A）	1,774	1,855	1,780	73	－
差　　額　　率　（%）	0.7%	41.2%	50.9%	3.7%	－
（ご参考）前期第２四半期実績（平成 23 年３月期第２四半期）	237,228	3,314	684	△1,321	△4 円 78 銭

（個別）　　（金額の単位：百万円）

	売　上　高	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前　回　発　表　予　想（A）	148,000	500	1,100	3 円 98 銭
実　　績　　値　（B）	162,493	519	△446	△1 円 62 銭
差　　額（B－A）	14,493	19	△1,546	－
差　　額　　率　（%）	9.8%	3.8%	－	－
（ご参考）前期第２四半期実績（平成 23 年３月期第２四半期）	156,143	409	375	1 円 36 銭

２．差異の理由

東日本大震災の影響を受け、国内需要の減少などを織り込んだ業績予想を策定しておりました。

個別業績につきましては、水産事業において輸入冷凍魚の需要増や魚価の上昇があり、食品事業において節電対応や生活者の意識の変化などから内食化傾向が高まり、冷凍食品などの需要が増加しました。この結果、売上高、経常利益は前回予想を上回りましたが、特別損失として投資有価証券評価損などが発生したことにより四半期純損失となり前回予想を下回りました。

連結業績につきましては、個別業績の水産事業および食品事業が前回予想を上回ったことに加え、海外において南米の鮭鱒養殖事業で販売数量および魚価が堅調に推移しましたことなどにより、営業利益、経常利益、四半期純利益が前回予想を上回りました。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点では前回発表の予想数値に変更はありませんが、今後の業績推移に応じて修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。

また、期末配当予想の１株当たり５円（年間配当予想 10 円）に変更はありません。

（注）上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以　上